

## 向丘高等学校令和4年度 教科国語科目現代文B 年間授業計画

教 科： 国語 科 目： 現代文B 単位数： 3単位

対象学年組： 第3学年1組～7組)

教科担当者： (1組：中田) (2組：中田) (3組：本郷) (4組：中田) (5組：本郷) (6組：本郷) (7組：本郷)

使用教科書： ( )

使用教材： (「大学入学共通テスト演習古典オリジナル20問」(いいづな書房)、「完全マスター 古典文法」(第一学習社)、「精選漢文」(尚文出版))

指導内容		科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4 月	古文文法の復習	○助動詞の意味や活用・接続などについて復習し、古文を理解するための基礎を伸ばす。  ○古文の語句の意味を理解し、文脈に沿って的確に内容を捉える。  ○助動詞の使い分けや、係り結びなどの古文文法に注意して、文章の主題を的確に捉える。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	4
5 月	古文文法の復習  徒然草「家居のつきづきしく」	○助動詞の意味や活用・接続などについて復習し、古文を理解するための基礎を伸ばす。  ○古文の語句の意味を理解し、文脈に沿って的確に内容を捉える。  ○助動詞の使い分けや、係り結びなどの古文文法に注意して、文章の主題を的確に捉える。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	2
6 月	漢文の用字・句法の復習  論語「過猶不及」「聞斯行諸」  荀子「人之性惡」  孟子「何必曰利」	○返読文字、再読文字の読み方を復習し、漢文を読解するための基礎を伸ばす。  ○語句の意味や句法に注意して、内容を的確に理解する。  ○人の本性に対するそれぞれの思想の在り方を理解し、人間の性に対するそれぞれの考え方を理解する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	3
7 月	古典問題演習	○大学共通テストやセンター試験と同程度の問題演習を通して、共通テストに対応した読解力を育成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	4
9 月	古典問題演習	○大学共通テストやセンター試験と同程度の問題演習を通して、共通テストに対応した読解力を育成する。  ○私大二次入試と同程度の問題演習を通して、私大二次試験に対応した読解力を育成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	8
10 月	古典問題演習	○大学共通テストやセンター試験と同程度の問題演習を通して、共通テストに対応した読解力を育成する。  ○私大二次入試と同程度の問題演習を通して、私大二次試験に対応した読解力を育成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	8
11 月	古典問題演習	○大学共通テストやセンター試験と同程度の問題演習を通して、共通テストに対応した読解力を育成する。  ○私大二次入試と同程度の問題演習を通して、私大二次試験に対応した読解力を育成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	8
12 月	古典問題演習	○大学共通テストやセンター試験と同程度の問題演習を通して、共通テストに対応した読解力を育成する。  ○私大二次入試と同程度の問題演習を通して、私大二次試験に対応した読解力を育成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考査	8
1 月				
2 月				
3 月				

## 向丘高等学校令和4年度 教科国語科目古文演習 年間授業計画

教 科：国語 科 目：古文演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 1組・2組・3組・4組・6組・7組

教科担当者：中田・石附・峯

使用教科書：『精選古典B 改訂版』（大修館書店）

使用教材：（『即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 三訂版』（桐原書店）、『Look@古文単語337』（京都書房））

	指導内容	科目「古文演習」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	「をばすて」（『大和物語』）	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	6
5月	「をばすて」（『大和物語』） 「花山院の出家」（『大鏡』）	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○敬語表現に関する知識を理解し、古文の読解に必要な基礎を定着させる。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	5 2
6月	「花山院の出家」（『大鏡』）	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○敬語表現に関する知識を理解し、古文の読解に必要な基礎を定着させる。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	8
7月	「花山院の出家」（『大鏡』） 「町の小路の女」（『蜻蛉日記』）	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○敬語表現に関する知識を理解し、古文の読解に必要な基礎を定着させる。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	1 2
9月	「町の小路の女」（『蜻蛉日記』）	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○掛詞や枕詞といった和歌に用いられる表現を理解する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	8
10月	大学入試問題演習	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○掛詞や枕詞といった和歌に用いられる表現を理解する。  ○大学入試問題に対応するための実践的な読解法を習得する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	5 2
11月	大学入試問題演習	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○大学入試問題に対応するための実践的な読解法を習得する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	8
12月	大学入試問題演習	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○大学入試問題に対応するための実践的な読解法を習得する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	5
1月	大学入試問題演習	○古文読解上必要になる、基本的な文法的知識や古文常識、時代の背景などを理解する。  ○大学入試問題に対応するための実践的な読解法を習得する。	関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	6
2月			関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	6
3月			関心・意欲・態度、知識理解、読む能力 話す・聞く能力、書く能力 授業への取り組み、ノート、定期考査	2

## 年間授業計画様式例

## 向丘高等学校令和4年度 教科国語科目現代文B 年間授業計画

教 科：国語 科 目：現代文B 単位数：3単位

対象学年組：第3学年1組～7組

教科担当者：（1組：中田）（2組：中田）（3組：本郷）（4組：中田）（5組：本郷）（6組：本郷）（7組：本郷）

使用教科書：（『高等学校現代文B 改訂版』（三省堂））

使用教材：（『即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 三訂版』（桐原書店）、『改訂版 現代文キーワード説解』（乙会）、「新国語問題集第22集」（京都書房））

指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
評論「ぬくみ」 鶴田清一 4月 現代文問題演習	○接続語注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○「自由」な社会において失われた「ぬくみ」を求める現象の背景を論理展開に沿って捉え、本文の内容に対して生徒自身の意見を形成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	3 3
評論「〈身体〉の隠れ」 黒崎政男 5月 現代文問題演習	○接続語に注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って理解する。  ○「バイオメトリックス認証」や脳科学の問題点に対して自分の意見を形成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
評論「虚ろなまなざし」 岡真理 6月 現代文問題演習	○表現上の特徴に注意して本文の構成を読み取り、筆者の問題意識を的確に捉える。  ○「ヒューマニズム」という言葉で語られる行動の「主体化」の問題点を指摘する。  「この地球社会に山積した問題」について、新聞やインターネット等を用いて調べ、自分なりの意見を形成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
評論「ある〈共生〉の経験から」 石原吉郎 7月 現代文問題演習	○接続語に注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○筆者の考える「連帯」や「孤独」の意味を把握し、その関係を理解する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
小説「舞姫」森鷗外 9月 現代文問題演習	○「手記」として書かれた文体の特徴を捉え、一人称語りによる構造、叙述の展開を的確に捉える。  ○物語を語り終えた「豊太郎」の気持ちを批判的に理解する。  ○日本近代文学史における森鷗外の位置づけや、同時代の作家について調べ読書の幅を広げる。  ○人類学的な発想や社会学的な視点を身につける。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
評論「陰翳礼讃」 谷崎潤一郎 10月 現代文問題演習	○接続語に注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○「闇」「陰翳」といった言い回りに注意しつつ、個々の語句に込められた意味を理解する。  ○筆者の意見を踏まえ、日本文化や日本文化論を調べ自分なりの意見を形成する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
評論「日本文化の雑積性」 加藤周一 11月 現代文問題演習	○接続語に注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○本文に即して、日本文化の雑積性と純粹化運動について理解し、文化の雑積性の積極的意味について自分なりの意見を形成する。  ○文体や表現上の特色を学び、小説が言語表現によって成立していることを理解する。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
評論「無常ということ」 小林秀雄 12月 現代文問題演習	○接続語に注意しながら本文の構成や展開を的確に捉える。  ○具体と抽象の関係を整理しながら筆者の意見を捉え、論証の工夫を理解する。  ○筆者について調べ、文学的を知ると共に他の作品へと読書の幅を広げる。	関心・意欲・態度 知識理解 読む能力 話す・聞く能力 書く能力  授業への取り組み ノート 語句プリント 定期考查	6 3
1月			
2月			
3月			

## 都立向丘高等学校令和4年度 教科国語科目国語常識 年間授業計画

教 科： 国語 科 目： 国語常識 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～7組)

教科担当者： 倉部

使用教科書： (精選国語総合 東京書籍 )

使用教材： (国語必携パーフェクト演習 三訂版 尚文出版)

	指導内容	科目国語常識の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4 月	身近なテーマで書く —意見・主張	・言葉・表現を広げている。 ・表現についての関心を広げている。 ・自己の意見を書いている。 ・正しい仮名遣いを理解している。	課題提出 定期考査	4
5 月	身近なテーマで書く —意見・主張		課題提出 定期考査	6
6 月	作文から小論文へ —意見・主張	・要約・要旨をまとめることができる。 ・段落の働きを把握し、文章を要約できる。 ・志望理由書を書くくことができる。	課題提出 定期考査	6
7 月	作文から小論文へ —意見・主張		課題提出 定期考査	4
9 月	表現の輪をひろげる —意見・主張	・報告文・意見文・小論文を作成できる。 ・主題を明確にして論理的な文章が書ける。 ・テーマ型、課題文型、データ型それぞれで書くことができる。	課題提出 定期考査	8
1 0 月	自分のことを伝える —面接・言葉遣い	・的確な表現のための形式や方法を理解している。 ・言葉遣い・敬語について理解している。	課題提出 定期考査	4
1 1 月	自分のことを伝える —面接・言葉遣い		課題提出 定期考査	6
1 2 月	自分のことを伝える —面接・言葉遣い		課題提出 定期考査	4
1 月	表現のマナー —日本語の理解 —表現の研究	日本語についての理解を深める。 表現の楽しさを味わう。 正式な書き方で手紙文を書く。実用文を学ぶ。	課題提出 定期考査	6
2 月				
3 月				

向丘高校 令和4年度（世界史演習Ⅰ）年間授業計画  
 教科 地理歴史 科目 世界史演習Ⅰ 対象 3学年 1組・2組・6組・7組

教科担当者 藤岡 俊朗

使用教科書：詳細世界史B(山川出版)

使用教材：グローバルワイド最新世界史図説(第一学習社)、詳説世界史10分間テスト(山川出版)、世界史用語集(山川出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「世界史演習Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 西ヨーロッパ世界の成立	地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗のなかで封建社会が形成されていったことを理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	10
5月 東ヨーロッパ世界の成立	ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸部族の自立の過程を理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	4
6月 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	14
7月 近世ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。 ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	4
9月 近世ヨーロッパ世界の展開	17-18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	4
10月 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 アジア諸地域の動揺	イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 アメリカ独立革命の経過と、独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。 アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ウイーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。 インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。	定期考查 小テスト 課題提出	8
11月 12月			8 5
1月 2月 3月 アジア・アフリカ史	アジア・アフリカの動向と、社会や文化の特質を解している。	定期考查 小テスト 課題提出	13

向丘高校 令和4年度（世界史演習Ⅱ）年間授業計画  
 教科 地理歴史 科目 世界史演習Ⅱ 対象 3学年 1組・2組・6組・7組

教科担当者 藤岡 俊朗

使用教科書: 詳細世界史B(山川出版)

使用教材: グローバルワイド最新世界史図説(第一学習社)、詳説世界史10分間テスト(山川出版)、世界史用語集(山川出

指導内容 【年間授業計画】	科目「世界史演習Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。</li> <li>・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、服属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。</li> <li>・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。</li> </ul>	定期考査 小テスト 課題提出	10
5月 第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となつたことを理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	6
6月 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカの抵抗運動	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。  中国や東南アジア諸国・インド・トルコや西アジア諸国・アフリカの民族運動の展開を理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	10
7月 世界恐慌とファシズム 諸国侵略	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	10
7月 第二次世界大戦	第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。		
9月 戦後世界秩序の形成と アジア諸地域の独立 米ソ冷戦の激化と西 欧・日本の経済復興	第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体世が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。 朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	13
10月 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り 石油危機と世界経済の再編	戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。 米ソの両大国の動搖と国際的な影響力の減退を理解する。 ドル=ショック、オイル=ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	13
11月 途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化と深刻化する貧困	東欧社会主义圏の消滅とソ連の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。 途上国の民主化の進展と、アジア社会主义国家の変容を理解する。 世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	定期考査 小テスト 課題提出	10 12 8
12月 近現代史問題演習	近現代史の問題演習を通じ、基本的知識を定着させるとともに、大学入試問題に対応できる応用力を身に着ける。	定期考査 小テスト 課題提出	13
1月			
2月			
3月			

向丘高校 令和4年度（ 現代社会 ）年間授業計画  
 教科 公民 科目現代社会 対象 3学年 1組～7組

教科担当者 1～6組 内崎 晓 印 7組 久世 哲也 印

使用教科書:清水書院 高等学校 新現代社会 新訂版

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目「現代社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 現代社会の諸課題	環境倫理、生命倫理、情報倫理について考えさせる。経済か環境か、SOLかQOLか、等の対立的な概念を含む問題について考えさせる。 特に環境倫理では、環境問題と国際社会の取り組み、地球温暖化問題、さまざまな環境問題について考えさせる。 また情報倫理では、高度情報化社会と経済、情報通信技術の社会的影響、高度情報化社会の課題、情報倫理と知識の創造について考えさせる。		5
5月 青年のあり方と現代	青年期の発達課題とアイデンティティの確立について心理学の観点から理解させ、自己理解を深める。 古代ギリシャ哲学を学習し、よく生きることとを考えることについて理解させ、近現代思想・学問の伝統であることを考えさせる。 また世界宗教について学習し、生きることと宗教による信仰と救済について理解させる。特に仏教の学習では、宗教の悟りと救いについて理解させ、日本思想への影響を考えさせる。さらに儒教を学習し、中国思想について理解させ、後の単元との関連を考えさせる。	定期考查	15
6月 現代に生きる古典の知恵	イギリス経験論のと大陸合理論のそれぞれの思考法を学習し、近代思想の人間中心主義の思考と現代への影響を考えさせる。 ドイツ觀念論のカントやヘーゲルを学習し、自由と自律について理解させる。	定期考查	10
7月 近現代の思想と社会	社会主義思想のマルクスを学習し、唯物論と唯物史観について理解させ、現代の資本主義がはらむ様々な矛盾に気付かせる。 功利主義のベンサムとミルを学習し、社会と幸福について理解させ、義務論との対立の中で現代の政治のあり方を考えさせる。 フランクフルト学派を学習し、理性中心主義への懷疑と全体主義への批判を理解させる。実存主義の思想家を複数人取り上げて学習し、自己と社会、他者の存在について理解させる。 現代政治哲学のロールズ、サンデル、アマルティアセンを学習し、公正と正義について理解を深めさせる。		
9月 憲法と人権保障	民主社会の思想と倫理を学習し、社会契約説と市民革命、立憲主義について理解させる。 日本国憲法の成立とその原理を学習し基本的人権の尊重、平和主義、国民主権の原理について理解させる。	定期考查	10
10月 憲法と政治参加			
憲法と平和	国民主権を実現する政治のしくみを学習し、国会の役割、内閣の役割、裁判所の役割、政党・選挙と政治参加について理解を深めさせる。 憲法第9条をめぐる政府解釈の推移から、憲法の原理と日本を取り巻く社会情勢の現状を理解する。 昨今の日本及び日本を取り巻く世界の防衛に関する情勢について学習し、日本の安全保障と日米安全保障条約について理解させる。		5
11月 現代の経済社会	18歳成年を前提に、大人になることの意義を未成年取消権等の関係の中で理解させる。 資本主義経済や市場経済の機能と限界、現代の企業、金融との働き、財政との働き、経済成長と景気変動、貿易と国際収支、国際通貨制度と為替相場について、理解させる。 日本経済のあゆみ、雇用・労働問題、社会保障の意義・しくみとその課題、公害の防止と環境保全、消費者をめぐる問題、中小企業とその課題、農業と食料について、理解させる。		5
経済活動のあり方		定期考查	5
1月 国際社会の枠組み	国際社会の成立と国際法、国際連合のしくみと役割、国際社会の人権保障について学習し、理解させる。 戦後の国際経済、冷戦終結後の世界とリージョナリズムの進展、現代の国際政治の動向について学習し、理解させる。		5
現代の国際政治と国際経済 ともに生きる社会をめざして	戦後の国際政治と国際経済、冷戦終結後の世界と現代の国際政治の動向について理解させる。 資源・エネルギー・人口問題、世界の貧困をめぐる問題、核兵器の廃絶と軍縮問題、国際平和と人間の安全保障について理解させる。 持続可能な社会の実現にむけて課題となる社会事象について、個人と社会の関係に着目して考察させ、これからの世界のあり方を考えさせる。		10
2月			
3月			

教科担当者 久世 哲也 印

使用教科書:清水書院 高等学校 現代 政治・経済 新訂版

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目「 政治・経済 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 民主政治の基本原理	政治の機能や、権力、多数決の原理、主権について理解を深めさせる。 法について学習し、社会規範、法的安定性と正義を理解させることで法的主体としての意識を高める。 近代民主政治の発展を学習し、絶対主義から近代市民社会へ、自然権と社会契約説、法の支配と立憲主義、国民主権と代議制について理解させる。 現代の民主政治の展開を学習し、人権の保障と人権の拡大、民主主義の危機について理解させる。 各国の政治制度を学習し、議院内閣制、大統領制、権力集中制、開発独裁、連邦制について理解させる。		5
5月 日本国憲法と国民主権	日本国憲法制定までの歴史的経緯や、大日本帝国憲法との対比の中で見えてくる特色、日本国憲法の制定について理解させる。日本国憲法の基本的性格を学習し、日本国憲法の基本原理について理解させる。平和主義思想の系譜を学習し、理解させる。日本の防衛政策と自衛隊について学習し、理解させる。日本の安全保障と国際協力について学習し、安全保障政策の原則、冷戦終結後の安全保障と安保再定義、自衛隊の海外派遣について理解させる。	定期考查	15
6月 日本国憲法と平和主義 日本国憲法と人権保障 日本の政治機構	基本的人権に関して、自由権的基本権、法の下の平等、社会権の基本権、参政権と請求権、新しい人権、人権をめぐる新たなうごきについて理解させる。 国会、内閣、裁判所の関係とそれぞれのしくみと機能を理解させるとともに、民主主義の学校としての地方自治について学習し、理解させる。	定期考查	10
7月 現代日本の政治 国際政治と日本	行政機能の拡大、政党政治、選挙制度、現代民主政治の課題について理解させる。その際、現在の選挙制度に至るまでの変遷についても扱う。 国際社会と国際法、国際連合と地域統合、国際政治の動向、核兵器と軍備管理・軍備縮小、国際社会における日本について理解させる。そのうえで、世界の中における日本の在り方について考えを深めさせる。		
9月 現代経済のしくみと特質 金融と財政のしくみ	経済活動の基本概念、経済主体と国民所得・国富、経済成長と景気変動、市場経済にいたる経済体制の変容、市場経済の機能と限界、企業の役割、物価のうごきについて学習し、理解させる。 金融のしくみとはたらき、財政のしくみとはたらきについて学習し、理解させる。		10
10月 日本経済のあゆみと現状	経済活動の基本概念、絏済主体と国民所得・国富、絏済成長と景気変動、市場絏済にいたる絏済体制の変容、市場絏済の機能と限界、企業の役割、物価のうごきについて学習し、理解させる。 金融のしくみとはたらき、財政のしくみとはたらきについて学習し、理解させる。	定期考查	5
11月 福祉の向上と日本経済	社会保障の成立と課題について学習する。社会保障の4つの体系、社会保険の財源の問題、世界の社会保障、日本の社会保障、労働基本法と労働運動、今日の雇用問題と労働条件、社会保障の成立と進展について学習し、理解させる。		5
12月 世界経済と日本	国際分業と貿易の利益、外国為替と国際収支のしくみ、グローバル化の進展と国際経済、アジア経済と南北問題、国際経済における日本の役割、環境と人口ー地球の持続可能性をめぐる問題について学習し、理解させる。その際、具体的な生徒にとって身近な事例を取り上げ、それが既習の内容とどのような関係を持つのかを考えさせる。	定期考查	5
1月 2月 3月 現代の諸課題	18歳成年を前提に、大人として現代社会の諸課題を考察し、持続可能性を意識ながらその課題の解決方法について考えを深めさせる。		15

# 向丘高校 令和4年度（地域研究）年間授業計画

教科 地理歴史 科目 地域研究 対象 3学年選択者

教科担当者 新林 沙織

使用教科書：基本地理A(二宮書店)

使用教材：詳解現代地図(二宮書店)

指導内容 【年間授業計画】	科目「地域研究」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数	
月 4 5	南アジア	南アジアの成り立ちおよび多様な言語・宗教を理解する。 インドにおけるヒンドゥー教と人々の生活を知る。 インドの農業および発展する産業について知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表	10
5 6 月	東南アジア	東南アジアの歴史と文化・民族について理解する。 東南アジアの農業と変化について知る。 ASEANの結成と工業の発展および課題について知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表 レポート	12
7 月	西アジア・中央アジア	イスラームを中心とした生活文化を理解する。 豊かな資源と人々の生活を知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表	6
9 月	アフリカ	歴史的な背景によって形成された多様な文化であることを理解する。 一次産品への依存度が強い産業構造であること知る。 人々の生活の変化と他地域との結びつきを知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表 レポート	6
11 10 月 ・	ヨーロッパ	ヨーロッパの成り立ちと国家の結びつきを理解する。 多様な農業と共通農業政策について知る。 工業の変化とこれからのヨーロッパについて知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表	12
月 1 2	ロシア	ロシアの歴史と社会の変化を理解する。 大きく変化したロシアの産業を知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表	8
1 月 ・ 2	アングロアメリカ	移民国家としてのアメリカ合衆国の人口と都市を知る。 世界の農業のかぎを握るアメリカ合衆国であることを理解する。 進展する科学技術と産業について知る。 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダについて知る。	授業中の発問 プリント 討論・発表	12
3 月	ラテンアメリカ	ヨーロッパ社会の影響が強い文化であることを理解する。 歴史的に関係の深い日本とラテンアメリカであることを理解する。	授業中の発問 プリント 討論・発表	4

# 向丘高校 令和4年度（日本史演習Ⅰ）年間授業計画

教科 地理歴史 科目 日本史演習Ⅰ 対象 3学年 1・2・3・4組

教科担当者 1・2・3・4組 緒方 英樹

使用教科書:詳説日本史B(山川出版社)

使用教材:日本史図表(第一学習社)

指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史演習Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 原始・古代 旧石器文化～ヤマト政 権の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧石器文化から縄文文化への移行を自然環境の変化に着目して理解する。</li> <li>・弥生時代の社会の変化について、墓制、集落の特色などを踏まえて理解する。</li> <li>・小国の形成や抗争の背景と邪馬台国成立に至る経緯などについて、中国文献を踏まえて理解する。</li> <li>・ヤマト政権による国内統一の過程を古墳文化の変化と関連づけて理解するとともに、古墳文化の各時期の特色を理解する。</li> <li>・推古朝の改革の具体的な内容について、史料を基に理解する。</li> </ul>	定期考査	10
5月 原始・古代 律令国家の成立～平安 初期の政治と摂関政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大化改新から天武・持統朝までの各時期の政策に着目し、律令制度の確立過程とその政治体制の特色を理解する。</li> <li>・平城京の時代を東アジア世界との交流や鎮護国家思想と関連づけて理解し、藤原氏の進出と政界の動搖について理解する。</li> <li>・平安遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。</li> </ul>	定期考査 課題	12
6月 中世 院政と平氏政権～鎌倉 幕府の成立と執権政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。</li> <li>・藤原北家発展の具体的な経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。</li> <li>・院政の機構など専制的な政治体制などの特色を理解する。</li> <li>・武士の中央進出の経緯と平氏政権の成立について理解する。</li> <li>・源平の争乱の推移、鎌倉幕府の支配機構と封建制度について理解する。</li> </ul>	定期考査	15
7月 中世 鎌倉幕府の成立と執権 政治 蒙古襲来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条氏台頭の経緯、承久の乱の背景、執権政治の特色について理解する。</li> <li>・御成敗式目の道理を理解する。また、惣領制を中心とした武士の生活について理解する。</li> <li>・東アジア世界の動向から見た蒙古襲来の意義、得宗専制政治確立の背景、永仁の徳政令発布の目的などについて理解する。</li> </ul>	定期考査	13
10月 中世 建武の新政と南北朝の 動乱 応仁の乱と戦国大名の 出現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政の内容とその問題点、南北朝の動乱の動乱の理由などについて理解する。</li> <li>・守護大名による土地侵略と室町幕府の支配機構を理解する。</li> <li>・勘合貿易の推移と幕府が勘合貿易に積極的であった理由について理解する。</li> <li>・応仁の乱の原因と影響について理解する。また代表的な戦国大名が登場する経緯や分国法・城下町を理解する</li> </ul>	定期考査	13
11月 近世 織豊政権 江戸幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ世界との接触とその影響や東アジアにおける国際関係も視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。</li> <li>・幕府の支配機構、農村支配、経済的基盤、身分制度などの全国支配の仕組みを理解する。</li> </ul>	定期考査	12
12月 近世 鎖国体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎖国体制に至る過程や鎖国下で交流のあった国や地域との関係を知り、鎖国の影響を理解する。</li> </ul>	定期考査	5
1月 近世 元禄時代・正徳の治 享保の改革・田沼政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元禄時代や正徳の治の具体的な政策を、幕藩体制の安定を背景に理解する。</li> <li>・国内経済の発展の背景として、農業・商業の活性化、交通の整備、貨幣制度の確立などについて理解する。</li> <li>・享保の改革や田沼政治の具体的な政策を、時代背景や歴史的意義とともに理解する。</li> <li>・宝暦・天明期にどのような種類の学問、文学、絵画が発展したのか、また代表的な作品について理解する。</li> </ul>	定期考査	15
2月 3月			

向丘高校 令和4年度 日本史演習Ⅱ 年間授業計画  
 教科 地理歴史 科目 日本史演習Ⅱ 対象 3学年 日本史演習Ⅱ①～③

教科担当者 緒方 英樹

使用教科書:日本史B(山川出版社)

使用教材:日本史図表(第一学習社)・日本史用語集(山川出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「日本史演習Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方 法	予定時数
4月	原始・古代・中世	定期考査 提出物 授業への取り組み	2
	近世	定期考査 提出物 授業への取り組み	2
	近代 開国から幕府の滅亡	定期考査 提出物 授業への取り組み	2
5月	明治期の諸改革	定期考査 提出物 授業への取り組み	3
6月	明治初期の外交と政府への反乱		3
	自由民権運動の展開	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
7月	立憲体制の成立	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
	条約改正	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
9月	日清戦争と国際関係	定期考査 提出物 授業への取り組み	2
	日露戦争と国際関係	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
	日露戦争後の国際情勢	定期考査 提出物 授業への取り組み	3
10月	政党政治の展開	定期考査 提出物 授業への取り組み	7
11月	第一次世界大戦前後の国内外の動向	定期考査 提出物 授業への取り組み	8
12月	第一次世界大戦前後の国内外の動向	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
1月	戦間期の国内外の動向	定期考査 提出物 授業への取り組み	6
2月	戦間期の国内外の動向	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
3月	第二次大戦前の国内の動向	定期考査 提出物 授業への取り組み	4
	太平洋戦争と日本	定期考査 提出物 授業への取り組み	2
3月	占領下の日本と復興	定期考査 提出物 授業への取り組み	2

向丘高校 令和4年度 ( 数学Ⅲ ) 年間授業計画  
 教科 数学 科目 数学Ⅲ 対象 3学年 5・6・7組

教科担当者 吉田 印

使用教科書:改訂版高等学校数学Ⅲ(数研出版)

使用教材:チャート式 改訂版 解法と演習 数学Ⅲ(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ⅲ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定期数
4月 第3章 関数 第1節 関数 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	○簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。 ○数列や関数值の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	定期考查	34
5月 第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第1章 複素数平面 第1節 複素数平面	○関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。三角関数、指數関数及び対数関数の導関数を求める。 ○複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。		35
6月 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	○導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。また、それらを事象の考察に活用する。	定期考查	20
7月 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	○平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。		27
9月 10月 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	○積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	定期考查	34
11月 12月 総合演習	○大学入試問題演習	定期考查	30
1月 2月 3月 総合演習	○大学入試問題演習	定期考查	30

向丘高校 令和4年度 ( 理系数学 ) 年間授業計画  
 教科 数学 科目 数学Ⅱ 対象 3学年  
 教科担当者 加藤

使用教科書:改訂版高等学校数学Ⅱ, 改訂版高等学校数学B(数研出版)

使用教材:三訂版シニア数学演習 I・II・A・B受験編(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「理系数学」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	数学ⅠA全般 数と式／2次関数 データの分析／場合の数と確率 整数の性質	定期考查	14
5月			
6月	数学ⅡB全般 三角関数／指数関数・対数関数 微分法・積分法／ベクトル 数列	定期考查	14
7月			
9月	入試問題演習 問題演習	定期考查	14
10月			
11月		定期考查	14
12月			
1月		定期考查	14
2月			
3月			

## 向丘高校 令和4年度 ( 数学演習 ) 年間授業計画

教科 数学 科目 数学演習 対象 3学年 5, 6, 7組

教科担当者 平山

使用教科書: 改訂版高等数学数学 I, 改訂版高等数学数学A, 改訂版高等数学数学 II, 改訂版高等数学数学B(数研出版)

使用教材: 改訂版キートレーニング数学演習 I・A・II・B 受験編(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「数学Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定期数
4月 数と式 2次関数 図形と計量 図形の性質	式の計算、実数、1次不等式、集合と命題 2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次方程式と2次不等式 三角比、三角形への応用 平面図形、空間図形	定期考査	24
5月			
6月 場合の数と確率 整数の性質 データの分析 総合演習	場合の数、確率 約数と倍数、ユークリッドの互除法、整数の性質の活用 データの分析 総合演習	定期考査	20
7月			
9月 三角関数 指數・対数関数 数列複素数と方程式 図形と方程式	三角関数、加法定理 指數関数、対数関数 等差数列と等比数列、いろいろな数列、数学的帰納法高次方程式 点と直線、円、軌跡と領域	定期考査	24
10月 平面上のベクトル 空間のベクトル	ベクトルとその演算、ベクトルと平面図形 空間ベクトル		
11月 微分・積分法 式と証明 複素数と方程式 総合演習	微分係数と導関数、関数の値の変化、積分法 式と計算、等式・不等式の証明 複素数と2次方程式の解	定期考査	28
12月			
1月 総合演習	総合演習	定期考査	24
2月			
3月			

使用教科書: 改訂版高等数学数学I, 改訂版高等数学数学A(数研出版)  
 使用教材: 改訂版キートレーニング数学演習 I・II・A・B 受験編(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「数学演習」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定期数
4月 数と式 2次関数	式の計算、実数、1次不等式、集合と命題 2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次方程式と2次不等式	定期考查	24
5月 図形と計量 図形の性質	三角比、三角形への応用 平面図形、空間図形		
6月 場合の数と確率 整数の性質	場合の数、確率 約数と倍数、ユークリッドの互除法、整数の性質の活用	定期考查	24
7月 データの分析	データの分析		
9月 問題演習	個別最適化した受験問題演習	定期考查	28
10月			
11月 入試問題分析	個別最適化した受験問題の分析、答案指導	定期考查	28
12月			
1月 総合演習	総合演習	定期考查	36
2月			
3月			

使用教科書:改訂版高等数学数学Ⅰ, 改訂版高等数学数学A, 改訂版高等数学数学Ⅱ, 改訂版高等数学数学B(数研出版)  
 使用教材:三訂版ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編(数研出版)

指導内容 【年間授業計画】	科目「文系数学」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定期数
4月 場合の数と確率	場合の数、確率	定期考查	12
5月 2次関数	2次関数とグラフ、2次関数の値の変化、2次方程式と2次不等式		
6月 三角関数 指数・対数関数	三角関数、加法定理 指数関数、対数関数	定期考查	12
7月 平面上のベクトル 空間のベクトル	ベクトルとその演算、ベクトルと平面図形 空間ベクトル		
9月 数列	等差数列と等比数列、いろいろな数列、数学的帰納法	定期考查	14
10月 図形と方程式	点と直線、円、軌跡と領域		
11月 微分・積分法	微分係数と導関数、関数の値の変化、積分法	定期考查	14
12月 入試問題演習	個別最適化した受験問題演習		
1月 総合演習	総合演習	定期考查	18
2月			
3月			

## 向丘高校 令和4年度 (物理) 年間授業計画

教科 理科 科目 物理 対象 3学年 5組・6組・7組 (選択者)

教科担当者 黒尾 印

使用教科書：改訂版 物理 数研出版

使用教材：四訂版 リードα 物理基礎・物理 数研出版 / 大学入学共通テスト チェック&演習 物理 数研出版  
物理重要問題集 数研出版

指導内容 【年間授業計画】	科目「物理」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定期数
4月 円運動と単振動 円運動 慣性力と遠心力 単振動 万有引力による運動 章末問題	速度の大きさが一定であるが、方向が変化する例として等速円運動を調べる。 慣性力を導入し、慣性系で観測する円運動が非慣性系ではつりあいの現象として観察されるこ とを把握する。 等速円運動から導かれる単振動について理解する。その具体的な例としてはね振り子と単振り 子を扱う。 惑星の運動から導入した万有引力による運動を、人工衛星などの運動を通して理解する。	授業プリント 定期考査	25
5月 気体の性質と分子の運 動 気体の法則 気体の分子の運動 気体の内部エネルギー と仕事 章末問題	気体の体積、圧力、温度の関係についてボイル・シャルルの法則、および理想気体の状態方程 式を導出する。 気体の法則による式が気体分子が不規則な運動をしていると仮定して、力学的に扱って導かれ ることを理解する。 気体分子の平均運動エネルギーと気体の絶対温度との比例することを理解する。 熱現象におけるエネルギーの保存を示し、その応用として、單原子分子からなる気体のモル比 熱が理論的には、気体の種類に関係なく一定になることを導く。	授業プリント 定期考査	27
6月 波動 波の伝わり方 波の性質 波の干涉・反射・屈 折・回折 章末問題 音波 音の伝わり方 ドップラー効果 章末問題 光波 光の性質 レンズと鏡 光の回折と干渉 章末問題 電気と磁気 電場と電位	波について一般的に見られる現象を示し、それらが重ね合わせの原理とホイエンスの原理によ って説明させることを理解する。 音が「波」としての性質をもっていることを理解する。 発音体の振動と共鳴・共振、およびドップラー効果について、演示実験など具体的に現象を示 しながら理解を深める。 光の速さの測定法を示し、その速さが有限であることを把握する。 物質によってその中における光の速さが異なることを理解する。 見かけの深さや全反射、レンズを通る光について、また、光の波として特に重要な回折や干渉 について具体的に現象を示しながら理解を深める。	授業プリント 定期考査	27
7月 コンデンサー 章末問題 半導体 章末問題	場の考え方、電場の重ね合わせ、電気容量と電圧、静電エネルギーなど物理量のもつている意 味を正しく理解する。	授業プリント 定期考査	12
9月 電流と磁場 磁場 電流が磁界から受けける 力 ローレンツ力 章末問題 電磁誘導と交流 電磁誘導 交流 電磁波 章末問題	電気と磁場に関する物理量を知り、定常でない電流特有の考え方を理解する。 電磁誘導の応用として交流の発生を理解する。  交流はいろいろな量がたえず変化しているが実効値を定義して表すと直流の場合のようにして 取り扱われることを理解する。	授業プリント 定期考査	27
10月 電子と光 電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性 章末問題 原子と原子核 原子の構造 原子核と放射線 核反応とエネルギー 素粒子と宇宙 章末問題 終章 物理学が築く未 来	物質の波動性を理解させる。 電子の波動性を光の粒子性と対比しながら理解する。  実験室で原子核反応を起こさせ、物質の人工変換ができるようになったこと、質量とエネル ギーの等価性を量的に示した式を理解する。 質量欠損の意味や結合エネルギーを学ばせ、結合エネルギーの解放として核分裂や核融合反応 を説明し、最後に現代素粒子物理の先端に触れ物理学の必要性を知る。	授業プリント 定期考査	23
大学入学共通テスト対 策 大学入試対策	問題演習を通しての全般に対する復習を行い、原理や法則に対する深い理解と物理的な洞察力 の育成を目標とする。	定期考査	4
11月 大学入学共通テスト対 策 大学入試対策	問題演習を通しての全般に対する復習を行い、原理や法則に対する深い理解と物理的な洞察力 の育成を目標とする。	定期考査	20
12月 大学入学共通テスト対 策 大学入試対策	問題演習を通しての全般に対する復習を行い、原理や法則に対する深い理解と物理的な洞察力 の育成を目標とする。	定期考査	8
1月 大学入学共通テスト対 策 大学入試対策	問題演習を通しての全般に対する復習を行い、原理や法則に対する深い理解と物理的な洞察力 の育成を目標とする。	定期考査	26
2月 大学入試対策	問題演習を通しての全般に対する復習を行い、原理や法則に対する深い理解と物理的な洞察力 の育成を目標とする。	定期考査	25
月 3 大学入試対策		定期考査	21

## 向丘高校 令和4年度 (物理基礎) 年間授業計画

教科 理科 科目 物理基礎 対象 3学年自由選択(選択者)

教科担当者 黒尾 印

使用教科書：改訂版 物理基礎 教研出版

使用教材：大学入試共通テストチェック&amp;演習 教研出版

指導内容 【年間授業計画】	科目「物理基礎」 【年間授業計画】の具体的な指導目標	評価の観点・方 法	予定期数
4月 力と運動 物体の運動 速さと等速直線運動 変位と速度 速度の合成・相対速度 加速度 等加速度直線運動	グラフを用いて平均の速度と瞬間の速度の違いについて理解する。 直線上の速度の合成や相対速度についての計算ができる。 等加速度直線運動の式を活用して平均の加速度が計算できる。	定期考查	7
5月 重力加速度と自由落下 鉛直投げ上げ運動 水平投射・斜方投射 まとめ・章末問題 問題演習 力と運動の法則 力と質量 いろいろな 力 力の合成・分解と 力のつりあい	落下運動の公式を理解し、重力加速度の値を用いて計算できる。 水平投射について、水平方向、鉛直方向の運動に分けて、それぞれの特徴を理解する。 入試問題にも対応できる論理的思考を涵養する。 接触力と遠隔力を区別できる。 摩擦力（最大摩擦力・動摩擦力）、圧力、浮力の大きさが計算できる。	定期考查	8
6月 慣性の法則 力と質量と加速度の関 係 運動の法則 作用・反作用の法則 摩擦力 運動方程式の利用(1) 運動方程式の利用(2) エネルギー 仕事と力学的エネルギー 力がする仕事 仕事と仕事を率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存 の法則 いろいろな運動と力学 的エネルギー	作用と反作用は、同一作用線上にあり、大きさは等しく、互いに逆向きであることを知る。 静止している物体や、等速直線運動している物体に働くている力を理解する。 摩擦力が加わる物体、斜面上を滑り落ちる物体、複数の物体、定滑車を含む物体などの運動 方程式を立て、計算できる。 力の方向と物体の移動方向が異なる場合の仕事及び重力のする仕事を計算できる。 仕事率が「力×速度」で表されることを理解する。 エネルギーの変化量が、物体にした仕事に相当することについて理解する。 物体の運動において、重力や弾性力以外の力が物体に対して仕事をしている場合には力学的 エネルギー保存則が成り立たないことについて理解する。 力学的エネルギーの保存（弾性力による位置エネルギー）に関する計算ができる。	定期考查	6
月7 問題演習	入試問題にも対応できる論理的思考を涵養する。	定期考查	3
9月 熱とエネルギー 温度と熱運動 熱と熱平衡 熱と仕事 エネルギーの変換と保 存 探求活動 力学的エネルギー保存 の法則 比熱の測定 仕事と熱 問題演習	温度と原子・分子の熱運動との関係及び絶対零度の概念を理解し、内部エネルギーの大きさ が温度に依存することを知る。 比熱、熱容量の定義を知り、熱平衡や熱量の保存について理解し、熱量と比熱の関係につ いて計算ができる。 ジュールの実験などを通して、仕事が熱に移り変わること、熱に関する現象が不可逆変化で あることを理解し、熱力学第一法則を使った計算ができる。 入試問題にも対応できる論理的思考を涵養する。	定期考查 定期考查	7
10月 波動 波の性質 波と振動 波の表し方 波の重ね合わせと定常 波 波の反射 音波 音の速さと3要素 波としての音の性質 弦の固有振動 気柱の固有振動 電荷と電流 電荷 電荷と電気抵抗 物質と抵抗率 電流と磁場 磁場 交流の発生と利用 電磁波 エネルギーとその利用 太陽エネルギーの利用 原子力エネルギー	波に関する物理量を知り、進行する正弦波において、波の基本公式を用いて周期が計算で き、綫波と横波の違いについて理解する。 実験を通して波の独立性について理解し、三角波などの簡単な波の重ね合わせを作図でき る。 定常波ができる仕組みや条件、入射波と反射波の合成波が定常波になることを理解する。 うなりが生じる仕組みについて理解する。 弦のn倍振動や閉管・開管のnの倍数、(2n-1)倍振動について図を用いて表現でき、 弦の振動や気柱共鳴の固有振動数や、うなりから二つの音源の振動数を求めることが可 能である。	定期考查	8
11月 から 3月	入試問題演習	入試問題にも対応できる論理的思考を涵養する。	定期考查 定期考查 定期考查 定期考查 定期考查

## 向丘高校 令和4年度 ( 化学 ) 年間授業計画

教科 理科 科目 化学 対象 3学年 5組・6組・7組(選択者)

教科担当者 佐藤 印

使用教科書:高等学校化学 第一学習社

使用教材:視覚でとらえる フォトサイエンス 化学図録 第一学習社 セミナー化学基礎+化学 第一学習社

指導内容 【年間授業計画】	科目「 化学 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方 法	予定期数
4月 第Ⅰ章 物質の状態 第1節 化学結合と結晶	・金属やイオン結晶の代表的な結晶格子について、粒子数や配位数の求め方を理解する。 ・分子間に働く力とその大きさについて理解する。	定期考査 提出物	7
	・状態変化に伴う熱の出入りについて理解する。 ・気体圧力の単位について理解する。 ・蒸気圧曲線とともに、蒸気圧と温度の関係や沸点について理解する。	定期考査 提出物	3
5月 第3節 気体の性質 第4節 溶液の性質	・ボイル、シャルル、ボイル・シャルルの法則、気体定数および気体の状態方程式を理解し、関係式から気体の体積や圧力、分子量などを求めることができる。 ・混合気体とその性質について理解する。 ・実在気体と理想気体の違いについて理解する。	定期考査 提出物	6
	・溶解平衡の概念を用いて飽和溶液を理解し、固体の溶解度、溶解度曲線を用いて再結晶の概念を理解する。 ・気体の溶解度及び、ヘンリイーの法則を理解する。 ・質量モル濃度と希薄溶液の性質との関連を理解する。 ・コロイド溶液とその性質について理解する。	定期考査 提出物	10
6月 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節 物質とエネルギー	・反応熱の定義を理解し、熱化学方程式の表記について理解する。 ・ヘスの法則を理解し、これを利用して未知の反応熱を求めることができる。 ・結合エネルギーの意味を理解し、結合エネルギーから反応熱を求めることができる。	定期考査 提出物	5
	・化学電池に関する基本原理を理解する。 ・いろいろな電池の仕組みについて理解する。 ・水溶液の電気分解について、各極での反応を、e-を用いた式で表すことができる。	定期考査 提出物	7
7月 第2節 化学反応の速さ 第4節 化学平衡	・反応の速さの定義や、反応速度式の表し方などを理解する。 ・反応の速さに影響を与える条件とそのしくみについて理解する。 ・活性化エネルギーと触媒について理解する。	定期考査 提出物	6
	・可逆変化と、化学平衡について理解する。 ・ル・シャトリエの原理と化学平衡の移動について理解する。	定期考査 提出物	5
9月 第5節 電離平衡	・電離平衡と電離度、溶液のpHの求め方について理解する。 ・緩衝液、溶解度積について理解する。	定期考査 提出物	
	・周期表をもとに価電子数および、陽性、陰性について復習する。 ・族番号に基づく分類による、水素、希ガスについて、各単体とその化合物について、製法や性質や用途などについて理解する。 ・族番号に基づく分類による、ハロゲン、酸素・硫黄、窒素・リン、炭素・ケイ素について、各単体とその化合物について、製法や性質や用途などについて理解する。	定期考査 提出物	9
10月 第2節 典型金属元素の単体とその化合物 第3節 遷移元素の単体とその化合物	・族番号に基づく分類による、アルカリ金属、2族、亜鉛・水銀、アルミニウム、スズ・鉛について、各単体とその化合物について、製法や性質や用途などについて理解する。	定期考査 提出物	7
	・遷移元素の性質の特徴を理解する。 ・鉄、銅、銀について、単体の製法と反応、それらの化合物の性質およびイオンの反応を理解する。 ・クロム、マンガンの単体と化合物の反応と性質を理解する。 ・金属イオンと陰イオンとの沈殿反応の特徴を理解し、金属イオンの定性分析を学ぶ。	定期考査 提出物	7
11月 第4節 無機物質と人間生活 第Ⅳ章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と分類	・金、白金、タンクステン、チタンについて、その性質と利用を学び、理解を深める。 ・合金の成分と性質および利用について理解する。 ・セラミックスおよびファインセラミックスの性質や用途について理解する。	定期考査 提出物	2
	・有機化合物の特徴、分類や示性式による表し方などを理解する。 ・構成元素の質量分析からの組成式の求め方と、分子量から分子量を決定できることを理解する。 ・構造異性体について学び、性質より構造式が決定できることを理解する。	定期考査 提出物	3
12月から3月 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物	・飽和炭化水素の構造や化学的性質の類似性を理解する。具体例として、メタンの製法、性質、用途を理解する。 ・環式飽和炭化水素の構造と性質について学ぶ。 ・アルケン、シクロアルケンの構造や性質を、エチレンを具体例に理解する。 ・アルキンの構造や性質を、アセチレンを具体例に理解する。	定期考査 提出物	6
	・アルコールとエーテル、アルdehyドとケトン、カルボン酸とエステル、油脂とセッケンについて、定義、分類、製法、性質、反応などを理解する。 ・不斉炭素原子及び光学異性体について理解する。	定期考査 提出物	8
10月 第4節 芳香族化合物 第5節 有機化合物と人間生活	・ベンゼンを代表例に、芳香族化合物の定義、構造、性質を理解する。 ・ベンゼン以外の芳香族炭化水素の構造、性質、用途を理解する。 ・ベンゼンの反応について理解する。 ・酸素や窒素を含む芳香族化合物について、定義、製法、性質、反応、用途を理解する。 ・芳香族化合物の性質を利用した、分離法について理解する。	定期考査 提出物	7
	・界面活性剤の分類、働き、用途などについて理解する。 ・染料と染色の仕組みについて理解する。 ・医薬品とその働きについて理解する。 ・単糖の定義、単糖と二糖の構造と性質を理解する。 ・α-アミノ酸の構造と性質、ペプチドの生成について理解する。	定期考査 提出物	3
11月 第V章 高分子化合物 第1節 合成高分子化合物	・高分子化合物の定義、分類、製法、分子量、性質などについて理解する。 ・合成樹脂について、具体例をとりあげながら、分類、製法(付加重合、付加縮合など)、性質、用途などを理解する。 ・合成繊維について、具体例をとりあげながら、分類、製法、性質、用途などを理解する。	定期考査 提出物	5
	・多糖類について、構成单糖や分子構造の違いから性質や反応が異なることを理解する。 ・タンパク質について、分類、構造、性質、反応などを理解する。 ・天然繊維と天然ゴムについて、成分、性質、用途などを理解する。半合成繊維についても、原料や製法、構造、性質、用途などを理解する。	定期考査 提出物	6
12月から3月 第3節 高分子化合物と人間生活 総合演習	・イオン交換樹脂の構造と性質、利用法を学ぶ。 ・他の高機能性高分子化合物について例示とともに学ぶ。 ・共重合によりつくられる合成ゴムについて学ぶ。 ・合成樹脂の処理と再利用について学ぶ。	定期考査 提出物	10
	・過去問などを利用した、進路に応じた演習による受験対策を行う。	定期考査 提出物	123

## 向丘高校 令和4年度 ( 化学基礎 ) 年間授業計画

教科 理科 科目 化学基礎 対象 3学年 1・3・4・5・7組

教科担当者 佐藤 印

使用教科書:高等学校 改訂 新化学基礎 第一学習社

使用教材:大字人試共通テスト対策 チェック&amp;演習 化学基礎 数研出版

指導内容 【年間授業計画】	科目「化学基礎」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	酸化と還元	酸化と還元に関する2年次の復習	定期考査 提出物 2
	溶液の濃度	・溶解度の定義を理解し、溶解度曲線が読める。 ・溶解度の値や溶解度曲線を用いて、結晶に関する量を計算によって求めることができる。	定期考査 提出物 3
	化学反応の量的関係	・化学反応式の係数比が物質量比に対応していることを理解する。化学反応式から、物質の質量・物質の体積を求めることができる。	定期考査 提出物 3
5月	酸と塩基 酸・塩基の値数と強弱 水素イオン濃度とpH	・酸と塩基の定義（プレンステッド・ローリー）を理解する。 ・酸と塩基の値数及び、強弱と電離度の大小の関係について説明できる。 ・強酸及び強塩基の水溶液の水素イオン濃度を求めることができる。	定期考査 提出物 2
	中和反応の量的な関係 中和反応と塩	・中和反応とは何かを説明することができる。 ・中和反応の量的関係が計算できる。 ・塩の組成式から、塩の分類ができる。 ・塩の組成式から、元の酸と塩基の化学式を書くことができ、それらの塩の水溶液の性質について説明することができる。	定期考査 提出物 4
6月	中和滴定	・酸と塩基の組み合わせから、中和滴定曲線や指示薬を選ぶことができる。 ・中和滴定の実験を行い、基本操作を習得するとともに、結果を記録・データを整理できる。	定期考査 提出物 4
	酸化と還元 酸化数と酸化剤・還元剤 酸化剤と還元剤の反応	・酸化と還元の定義を説明できる。 ・原子の酸化数を求められる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤を指摘できる。 ・酸化剤と還元剤の半反応式をつくることができる。 ・主な酸化剤、還元剤の働きを、酸化還元反応の化学反応式とともに理解する。 ・酸化剤と還元剤の反応を合わせた化学反応式をつくることができる。	定期考査 提出物 8
7月	金属のイオン化傾向	・金属のイオン化傾向を大きい順にいえる。 ・金属と水や酸の反応において発生する物質を指摘できる。	定期考査 提出物 2
	電池 電気分解とその利用	ダニエル電池のしくみを理解する。 さまざまな電池を一次電池と二次電池に区別できる。 電気分解の工業的な利用例をあげられる。	定期考査 提出物 2
	物質とその分離	物質の構成、同素体、物質の分離と精製、成分元素の検出について理解を深める。 自主的に問題演習を行い、確認問題を解答できる。	定期考査 提出物 2
8月	熱運動と物質の三態	物質の熱運動、物質の三態について理解を深める。 自主的に問題演習を行い、確認問題を解答できる。	定期考査 提出物 2
	原子の構造と周期表	原子の構成、原子の電子配置、イオン、元素の周期律と周期表について理解を深める。 自主的に問題演習を行い、確認問題を解答できる。	定期考査 提出物 3
	化学結合	化学結合の種類、電気陰性度と極性、物質の構成粒子による分類について理解を深める。 自主的に問題演習を行い、確認問題を解答できる。	定期考査 提出物 3
9月	物質量	原子量・分子量・式量、物質量について理解を深める。 自主的に問題演習を行い、確認問題を解答できる。	定期考査 提出物 4
	総合演習	・過去問などを利用した、進路に応じた演習による受験対策を行う。	定期考査 提出物 26
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

向丘高校 令和4年度（生物基礎演習）年間授業計画

教科 理科 科目 生物基礎 対象 3学年 1・3・4・6・7組

教科担当者 長美 克明 印

使用教科書：生物基礎（実教出版）

使用教材：つかむセンター生物基礎（浜島書店）、エッセンスノート生物基礎（実教出版）、「フォトサイエンス」生物図録（数研）

指導内容 【年間授業計画】	科目「生物基礎」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方 法	予定時数
4月 生物と遺伝子	・生物の構造と機能について理解する。 ・細胞とエネルギー、共生説について理解する。 ・遺伝情報とDNAについて理解する。 ・遺伝情報の分配、遺伝情報とタンパク質について理解する。	定期考査 小テスト	10
5月 生物の体内環境の維持	・体液の恒常性について理解する。 ・自律神経系とホルモンについて理解する。 ・免疫について理解する。	定期考査 小テスト	12
6月 生物の多様性と生態系	・植生の多様性、バイオームについて理解する。 ・生態系について理解する。	定期考査 小テスト	12
7月 総合演習	・語句や図の確認を中心とした基本的な選択問題を解答できる。 ・基本事項を活用して考える標準的な選択問題を解答できる。 ・既習の知識を活用して考える発展的な記述問題を解答できる。	定期考査 小テスト	12
8月 総合演習	・志望校に応じたレベルの入試問題を解答できる。	定期考査 小テスト	8
9月 総合演習			10
10月 総合演習			6

## 向丘高校 令和4年度（生物）年間授業計画

教科 理科 科目 生物 対象 3 学年 5・6・7組

教科担当者 長美 克明 印 別納 彩子 印

使用教科書：生物 新訂版（実教出版）

使用教材：三訂版 フォトサイエンス生物図録（数研出版）セミナー生物基礎+生物（第一学習社）チェック&amp;演習生物（数研出版）

指導内容 【年間授業計画】	科目「生物」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞や生体膜の構造およびそれらを構成する物質の特徴を理解する。</li> <li>細胞や生体膜の構造およびそれらを構成する物質の特徴を理解する。細胞膜を介した物質輸送と情報伝達のしくみを理解する。</li> <li>細胞骨格の構造と機能を理解する。</li> <li>タンパク質の立体構造と酵素反応について理解する。</li> <li>酵素反応の特徴を理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	16
5月 代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>光合成の過程を理解する。</li> <li>光合成と化学合成について理解する。</li> <li>窒素同化について理解する。</li> <li>発酵の過程について理解する。</li> <li>筋肉における解糖について理解する。</li> <li>呼吸の過程について理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	25
6月 遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの半保存的複製について理解する。</li> <li>タンパク質合成のしくみについて理解する。</li> <li>コドン表とアミノ酸配列について理解する。</li> <li>遺伝子突然変異について理解する。</li> <li>調節遺伝子と調節タンパク質の働きを理解する。</li> <li>ラクトースオペロンについて理解する。</li> <li>遺伝子組換えのしくみを理解する。</li> <li>PCR法、塩基配列の決定法について理解する。</li> <li>バイオテクノロジーの応用と課題について理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	30
6月 生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>無性生殖と有性生殖について理解する。</li> <li>減数分裂について理解する。</li> <li>性染色体について理解する。</li> <li>連鎖と組換えについて理解する。</li> <li>染色体地図について理解する。</li> <li>動物の配偶子の形成と受精の過程について理解する。</li> <li>卵割の特徴を理解する。</li> <li>ウニとカエルの初期発生の過程を理解する。</li> <li>胚葉の分化と器官形成について理解する。</li> <li>母性因子の働きについて理解する。</li> <li>胚の区画化と調節遺伝子の働きについて理解する。</li> <li>体軸の形成について理解する。</li> <li>誘導と反応能、誘導の連鎖について理解する。</li> <li>プログラム死、幹細胞について理解する。</li> <li>植物の体制の特徴を理解する。</li> <li>植物の配偶子形成と胚発生について理解する。</li> <li>被子植物の重複受精について理解する。</li> <li>体軸の決定のしくみを理解する。</li> <li>花の形態形成とABCモデルについて理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	10
9月 生物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物ホルモンの働きについて理解する。</li> <li>様々な屈性について理解する。</li> <li>オーキシンの極性移動について理解する。</li> <li>光受容体と光形態形成について理解する。</li> <li>光周性について理解する。</li> <li>長日植物と短日植物の限界暗期について理解する。</li> <li>刺激の受容と受容器について理解する。</li> <li>神経系とそのはたらきについて理解する。</li> <li>効果器とその反応について理解する。</li> <li>生得的な行動と学習行動について理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	24
10月 生物群集と生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>個体群の成長について理解する。</li> <li>密度効果と相変異、最終収量一定の法則について理解する。</li> <li>生存曲線について理解する。</li> <li>環境条件と個体群の変動について理解する。</li> <li>個体群内の相互作用について理解する。</li> <li>資源の利用について理解する。</li> <li>利他行動と血縁度、包括適応度について理解する。</li> <li>個体群間の相互作用について理解する。</li> <li>ニッチ（生態的地位）について理解する。</li> <li>多様な種が共存するしくみを理解する。</li> <li>中規模擾乱仮説を理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	21
10月 生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質生産の量的関係について理解する。</li> <li>様々な生態系の物質生産の特徴を理解する。</li> <li>エネルギーの移動とエネルギー効率について理解する。</li> <li>生物多様性の3つのとらえ方を理解する。</li> <li>生物種の絶滅について理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	14
11月 生物の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>進化の証拠について理解する。</li> <li>遺伝子頻度と遺伝子プールについて理解する。</li> <li>ハーディ・ワインベルグの法則について理解する。</li> <li>遺伝的浮動について理解する。</li> <li>隔離と種分化について理解する。</li> <li>分子進化（遺伝子重複、中立説）について理解する。</li> <li>原始生命的誕生と進化</li> <li>原核生物から真核生物へ</li> <li>地球環境の変遷と地質時代について理解する。</li> <li>人類の進化について理解する。</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	21
11月 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の分類階級を理解する。</li> <li>学名の付け方を理解する。</li> <li>系統樹について理解する。</li> <li>五界説について理解する。</li> <li>ドメインについて理解する。</li> <li>各界の生物群の特徴</li> </ul>	定期考査、プリント、実験レポート	14
12月 問題演習	大学入試問題を解答する力をつける。	定期考査、プリント、実験レポート	14
1月 問題演習	大学入試問題を解答する力をつける。	定期考査、プリント、実験レポート	56
2月			
3月			

## 向丘高等学校令和4年度 教科外国語 科目英語表現Ⅱ 年間授業計画

教 科： 外国語 科 目： 英語表現Ⅱ 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～7組

教科担当者： (1組：小久保) (2組：前島) (3組：神谷) (4組：神谷) (5組：小久保) (6組：前島) (7組：小久保)

使用教科書： (EMPOWER English Expression II ESSENTIAL COURSE (桐原書店))

使用教材： (CLOVER 英文法・語法ランダム演習 入試標準 (教研出版)、英語総合問題演習 WIDE ANGLE (美誠社))

指導内容		科目英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	疑問と否定 接続詞 無生物主語・倒置・強調・省略 名詞・冠詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準否定語、部分否定、倒置構文の作り方、省略のパターン等について読解と英作文につながる解説と問題演習を行う。</li> <li>・「名詞節」「形容詞節」「副詞節」の習熟と、複文、重文の英作文の演習を行う。</li> <li>・可算、不可算の基本、動詞等と結びついた様々な慣用表現に習熟させる。</li> </ul>	定期考査の得点を合計し、100点換算の上、得点率による習熟度ラインを設定、5段階で評定を行う。	5
5月	代名詞 接続詞 復習 否定・強調・倒置 復習 名詞 復習 語法：語らい（形容詞・副詞） 語法：語らい（動詞） 中間考査振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな代名詞の用法、再帰代名詞その他の基本用法の復習とまとめを行う。</li> <li>・「名詞節」「形容詞節」「副詞節」の習熟と、複文、重文の英作文の復習を行う。</li> <li>・準否定語、部分否定、倒置構文の作り方、省略のパターン等について読解と英作文の復習を行う。</li> <li>・形容詞、副詞の紛らわしい使い方、慣用表現を紹介し、基礎問題の演習を通して習熟させる。</li> </ul>		7
6月	時制 助動詞 無生物主語・倒置・強調・省略 接続詞 否定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「時、条件の副詞節における現在時制」等の頻出項目について理解させる。</li> <li>・各助動詞及び助動詞句の詳細な用法についての理解を深めさせる。</li> <li>・無生物主語構文について、直訳との比較で理解を深めさせる。</li> <li>・4月、5月既習事項を復習し、定着を図る。</li> </ul>		7
7月	期末考査振り返り 態 1学期復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考査で得点できなかった項目をピックアップさせ、自己の課題を認識させる。</li> <li>・助動詞を伴う受動態、完了形、進行形の受動態等の項目について理解し、單文の作文に習熟させる。</li> </ul>		5
9月	不定詞 分詞 動名詞 英語理解と表現のコツ① it構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本三用法の他、不定詞の副詞的用法の様々な用法に習熟させる。</li> <li>・過去分詞と現在分詞の違いを理解させ、後置修飾や分詞構文の用法に習熟させる。</li> <li>・動名詞と不定詞の名詞的用法の違いを理解させ、頻出の慣用表現に触れさせる。</li> <li>・主語と述語動詞の対応を確認する。</li> <li>・さまざまなit構文を確認し、理解を深めさせる。</li> </ul>		6
10月	比較 関係詞 仮定法 英語理解と表現のコツ② 条件構文 中間考査振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻出の比較表現を理解し、英作文等の演習を通じ、習熟させる。</li> <li>・関係詞の基礎を復習し、入試問題の出題類型を紹介し、実際に問題演習に取り組ませる。</li> <li>・問題演習を通じ、仮定法の構文に習熟させる。</li> <li>・英語表現でまちがいやすい用法（時制の一貫性、間接疑問文、状態動詞と動作動詞）について確認させる。</li> <li>・考査で得点できなかった項目をピックアップさせ、自己の課題を認識させる。</li> </ul>		8
11月	前置詞と群前置詞 動詞を含むイディオム 形容詞・副詞を含むイディオム 譲歩 その他の構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各前置詞の基本と頻出の群前置詞等に習熟させる。</li> <li>・譲歩の表現について理解を深め、問題演習に取り組ませ、習熟を図る。</li> <li>・さまざまな構文について復習する。</li> </ul>		8
12月	名詞を含むイディオム 英語理解と表現のコツ③ 期末考査振り返り 共通テスト演習① 共通テスト演習② 共通テスト演習③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の仕方の工夫について学ぶ。</li> <li>・考査で得点できなかった項目をピックアップさせ、自己の課題を認識させる。</li> <li>・特別時間割内の授業では、直前のまとめとして、集中的な問題演習を行う。</li> <li>・問題演習においては、項目別ではなく、各項目を横断的に配置した問題演習を行う。</li> <li>・客観問題を本番で想定される時間枠内において解答させ、解答解説を行う。</li> <li>・私大対策としては記述問題の解答法についての解説と問題演習を実施。基礎力の再度の確認と定着、解答速度の向上を目指す。</li> </ul>		6
1月	直前演習① 直前演習② 直前演習③ 直前演習④ 共通テスト解説 私大直前演習① 私大直前演習②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別時間割内の授業では、直前のまとめとして、集中的な問題演習を行う。</li> <li>・問題演習においては、項目別ではなく、各項目を横断的に配置した問題演習を行う。</li> <li>・客観問題を本番で想定される時間枠内において解答させ、解答解説を行う。</li> <li>・私大対策としては記述問題の解答法についての解説と問題演習を実施。基礎力の再度の確認と定着、解答速度の向上を目指す。</li> </ul>		10
2月	入試問題演習			8
3月				

## 年間授業計画

## 都立向丘高等学校令和4年度 教科 英語 科目 コミュニケーション英語III 年間授業計画

教 科： 英語科 科 目： コミュニケーション英語III 単位数： 4 単位

対象学年組： 第3学年（1組～7組）

教科担当者： (1組・2組・7組 小川) (3組・4組：小久保) (5組・6組：神谷)

使用教科書： (MAINSTREAM ENGLISH COMMUNICATION III 増進堂)

使用教材： ( Reading Flash stage 3 Hyper Listening Intermediate 4th Edition)

	指導内容	科目コミュニケーション英語IIIの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	Chapter 1	・1964年に東京オリンピックが開催された事実とその経緯を理解させる。 ・幻となった1940年東京オリンピックの背景に柔道の父「嘉納治五郎」の存在があったことを読み取らせる。 ・柔道が海外で広まった経緯を理解させる。	●各パラグラフでテーマやトピックセンテンスを示すことができる。 ●各パラグラフ内の英文を正確に理解することができる。 ●音読に必要な技能（強勢、リズム、区切り）の習得に向がある。 ●直説直解の技能獲得に向けて努力をしている。	16
	Chapter 2	・マイクロファイナンスとは何なのか、その目的と効果について学ばせる。 ・マイクロファイナンスの成功例を見て、どのようなことが結論づけられているのかを把握させる。		
5月	Chapter 3	・『モナ・リザ』が描かれた経緯と、現在の『モナ・リザ』を取り巻く状況を把握させる。 ・『モナ・リザ』が最も有名な絵画の1つになった経緯を理解させる。	●新出単語を正確に筆記することができる。 ●本課で用いられている列挙・新情報の追加、要約・結論のディスクスマーカーを用いて、英文が書ける。 ●文中の表現を用いて、英文を書くことができる。 ●本文を見ずに、音声だけ聞き取れる。	16
	Chapter 4	・世界中で起こっている水不足の問題の現状を把握させる。 ・水不足の原因とそれによって起きた問題を考えせる。 ・水不足の問題の解決策として、筆者はどのようなことを提言しているのかを把握させる。 ・Skill 8で学習した原因・理由と結果のディスコースマーカーを確認させる。 ・ミューラー実験はどのようなものか、その内容を把握させる。 ・実験結果をふまえうえで、心理学者ウォルター・ミシェルの主張を理解させる。 ・ミシェルの考察やその後の追跡調査から、どのようなことが結論づけられたかを把握させる。 ・Skill 9で学習した連接と対比のディスコースマーカーを確認させる。	●数字・単位などを正確に聞き取れる。 ●本文以外の映像資料などに関心を持ち、積極的にリスニングしている。	
6月	Chapter 6	・地図はどういう種類の星（太陽）からどうよい距離のところにあり、著々ず距離ないことを学ぼせる。 ・太陽が1倍の大きさだと仮定すると、1,000万年で焼失してしまったろうということを学ぼせる。 ・生命の居住可能域は非常に狭いことを理解させる。 ・2,500万マイル太陽に近いだけだ、金星は地球上とまったく異なる環境であることを学ばせ ・p.52にある「図やグラフを含む英文を読み解くポイント」を理解させ、実践させる。 ・世界人口の推移と地域別の人口推移を理解させる。 ・国やグラフだけでなく、チラシや新聞、各種の申込書など、情報を確に読み取る必要がある英文に慣れさせる。	●各パラグラフのテーマやトピックセンテンスを示すことができる。 ●各パラグラフ内の英文を正確に理解することができる。 ●音読に必要な技能（強勢、リズム、区切り）の習得に向がある。 ●直説直解の技能獲得に向けて努力をしている。	20
	Chapter 7	・Section 1で学習したスキルを使って、英文を読み解かせる。 ・パラグラフごとに内容を理解し、本文全体の主題を読み取らせる。 ・本文で扱われている語法・文法を理解させる。	●スキミングを意識して本文を読むことができる。	
7月	Chapter 8	・登場人物とその関係を理解させる。 ・時の流れと場面の変化を正確に読み取らせる。 ・登場人物の心情を把握させ、結末で何が示されているかを理解させる。		
	Chapter 9	・それぞれの生徒の意見・主張を読み取らせる。 ・「逆襲・譲歩」「因果関係」「例示・列挙」などに注意して、英文を読み取らせる。 ・英語でディスカッション・ディベートをさせる。	●本文に関する質問を英語で作成することができ、教師側からの発問についても英語で的確に答える。 ●意味のまとまりで適切に区切り、リズムを持って説明や発表を英語ですることができる。 ●インテネーションに注意して、提示された英文を音読することができる。 ●本課で知り得た情報をもとに、英語で発表することができる。 ●新出単語とそれを含む例文をすばやく筆記することができる。 ●新出の文法事項を含む本文を記憶し、教師側の指示や質問に適切に対応することができる。 ●本文にあらすじ情報を簡潔に表すため、要約文を作成することができます。	8
9月	Chapter 10	・Section 1で学習したスキルを使って、英文を読み解かせる。 ・パラグラフごとに内容を理解し、本文全体の主題を読み取らせる。 ・本文で扱われている語法・文法を理解させる。		
	Chapter 11	・Section 1で学習したスキルを使って、英文を読み解かせる。 ・パラグラフごとに内容を理解し、本文全体の主題を読み取らせる。 ・本文で扱われている語法・文法を理解させる。	●新出単語とそれを含む例文をすばやく筆記することができる。 ●新出の文法事項を含む本文を記憶し、教師側の指示や質問に適切に答えることができる。 ●本文にある情報を簡潔に表にまとめ、要約文を作成することができる。 ●英文を聞いて、大まかな概要を把握できる。 ●内容についての英語や英文を聞いて、正しく理解できる。 ●グループ活動において他の者の意見を聞き、議論することができる。 ●各パラグラフのテーマやトピックセンテンスを示すことができる。 ●各パラグラフ内の英文を正確に理解することができる。 ●音読に必要な技能（強勢、リズム、区切り）の習得に向上がる見られる。 ●直説直解の技能獲得に向けて努力をしている。	16
10月	Chapter 12	・Section 1で学習したスキルを使って、英文を読み解かせる。 ・パラグラフごとに内容を理解し、本文全体の主題を読み取ることができるようにさせる。 ・本文で扱われている語法・文法を理解させる。		
	Chapter 13	・Section 1で学習したスキルを使って、英文を読み解かせる。 ・パラグラフごとに内容を理解し、本文全体の主題を読み取ることができるようにさせる。 ・本文で扱われている語法・文法を理解させる。		
11月	Chapter 14	・科学的な進歩において、中国はなぜ西洋に遅れをとってしまったのか、彼らが発明したお茶などのよしなど、關係があるのかを理解させる。 ・ガラスの始まりと、高級ガラスが作られるようになった経緯を理解させる。 ・西洋ではガラスの発明がどのように科学の発展に寄与したのかを理解させる。 ・今月は中国ではなぜかほとんど製造されているのかを理解させる。 ・e-readerとは何かを認識させる。 ・電子書籍が紙の本に取って代わると思うか、またなぜそう思うのかを考えさせる。 ・筆者を考えとその理由を理解させる。 ・インターネット化した社会の中でのアログの長所についても考えさせるきっかけにする。	●スラッシュリスニングができる。 ●クラスやグループの中で、他者の意見を聞き理解することができる。 ●Activity で会話を聞き、問題に正確に答えることができる。 ●模範の音声の発音、リズム、強弱を意識してリピーティングができる。 ●意味を考えながら正しくスラッシュリーディングができる。 ●シャドウイングができる。	20
	Chapter 15	・コスティラスが経済的発展と環境保護の両方を成功させた政策とはどのようなものだったかを理解させる。 ・その政策の基本となる考え方を理解させる。 ・経済的発展、環境保護、エネルギーの観点から私たちの未来について考えさせる。	●年次や教などを正確に聞き取ることができる。 ●フレーズごとのリスニングができ、その内容を正確に把握することができる。	
12月	Chapter 16	・フェアトレードにおける何が理解される。 ・フェアトレードの目的を生産者・消費者の両面から理解させる。 ・フェアトレードの4つの理念を理解させる。 ・クアバ・ココとは何か、またその取り組みを理解させる。 ・筆者のも伝えたいことは何を読み取らせる。	●フェアトレードについて書くことができる。 ●フェアトレード制度についてどう思うか、自分の意見を書くことができる。 ●音声を聞いて、フェアトレードの概要を把握することができる。 ●フレーズごとのリスニングができ、正確に内容を把握することができる。 ●音声の後についてほぼ同じ発音、イントネーションで繰り返すこと（シャドーリング）ができる。	20
	Chapter 17	・iPS細胞とはどのような細胞か、何が画期的なかを理解させる。 ・今後の活用と課題を読み取らせる。 ・山中教授のスピーチから学ぶべきメッセージを読み取らせる。	●ガードン教授と山中教授のノーベル賞受賞と受賞理由について、英語で書くことができる。 ●iPS細胞の作製方法や今後の可能性、課題について英語で書くことができる。 ●山中教授の講演について思ったことを、英語で書くことができる。 ●グループ活動において他の意見を聞き理解することができる。 ●フレーズごとに意味をとらえながら聞き進むことができる。 ●音声の後についてほぼ同じ発音、イントネーションで繰り返すこと（シャドーリング）ができる。 ●山中教授が講演の聴衆に伝えたいことを素早く読み取ることができる。	
1月	大学入試対策演習			8
2月	大学入試対策講座			
3月	大学入試対策講座			

# 都立向丘高等学校令和4年度 教科 外国語 科目 文法・表現 年間授業計画

教 科： 外国語 科 目： 文法・表現①②③ 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～7組)

教科担当者： (前島)

使用教科書：

使用教材： ( 英語総合問題集 TREASURE HUNT (いいいざな書店) )

	指導内容	科目英語総合読解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	Unit 1 人物 Unit 2 物の歴史	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 1 同意表現をつかむ・時制 Unit 2 指示語の把握・助動詞	定期考査の得点を合計し、100点換算の上、得点率による習熟度ラインを設定、5段階で評定を行う。	8
5月	Unit 3 古代文明 Unit 4 文化史	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 3 出来事の流れを把握・受動態 Unit 4 段落の要旨・不定詞・動名詞		8
6月	Unit 5 古代史 Unit 6 科学	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 5 段落用紙・不定詞・動名詞 Unit 6 速読・不定詞・動名詞		8
7月	Unit 7 広告	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 7 トピックセンテンスの把握・分詞		
9月	Unit 8 物語 Unit 9 行動心理 Unit 10 家族愛	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 8 多義語の把握・関係詞 Unit 9 抽象具体の把握・関係詞 Unit 10 速読・比較		8
10月	Unit 11 文化史 Unit 12 物の歴史 Unit 13 論説	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 11 対比構造・比較 Unit 12 文章の展開・仮定法 Unit 13 具体例と結論・仮定法		8
11月	Unit 14 動物 Unit 15 論説	○長文読解力・文法力を総合的に養う。  ○内容: Unit 14 速読・前置詞 Unit 15 結論の把握・接続詞		
12月	大学入試問題演習	過去問に取り組み、入試問題の実践演習を行う。		
1月	大学入試問題演習	過去問に取り組み、入試問題の実践演習を行う。		
2月				
3月				

**都立向丘高等学校令和2年度 教科 外国語 科目 総合読解 年間授業計画**

教 科： 外国語 科 目： 英語総合読解①②③ 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～7組

教科担当者： (小川)

使用教科書：

使用教材： ( SKYWARD Clouds Cours 2nd Edition 最新入試英語長文20選 (桐原書店) Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 (数研出版) )

	指導内容	科目英語総合読解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	Unit 1 オフィスでの対話 Unit 2 大阪のお笑い文化 Unit 3 「スーパーフード」の専門家とのインタビュー Unit 4 男女の意志決定の違い	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○内容: Unit 1 資料の読み取り Unit 2 大衆文化 Unit 3 インタビュー Unit 4 コミュニケーション	定期考査の得点を合計し、100点換算の上、得点率による習熟度ラインを設定、5段階で評定を行う。	8
5月	Unit 5 森林と生物の共存 Unit 6 ビジネスメールのマナー Unit 7 電池のすべて Unit 8 ピクサー社の歴史	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○内容: Unit 5 自然環境 Unit 6 社会生活 Unit 7 エネルギー Unit 8 ピクサー社の歴史		8
6月	Unit 9 日米の大学の違い Unit 10 携帯電話は必要か Clues to Reading ①～⑤	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○内容: Unit 9 比較文化 ○内容 Unit 10 エッセイ 後置修飾の名詞、文構造、挿入、同格関係、並列関係		8
7月	Unit 11 エスカレーターの正しい乗り方 Clues to Reading ⑥～⑨	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○Uni 11 日常生活 itの用法、関係代名詞		
9月	Unit 12 バイリンガルとは何か Unit 13 プラスチックと環境 Unit 14 ある少女の運命を変えたヤギ Clues to Reading ⑩～⑪	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○内容 Unit 12 言語 ○ Unit 13 環境論 ○ Unit 14 ノンフィクション 分詞構文、比較		
10月	Unit 15 日本人の自然美的概念 Unit 16 テレビCMと子どもの肥満 Unit 17 子どもの上手なほめ方	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○ Unit 15 日本文化 ○ Unit 16 健康・医学 ○ Unit 17 教育		8
11月	Unit 18 地雷探知の新「兵器」 Unit 19 コーヒーの歴史 Clues to Reading ⑫～⑭	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○Unit 18 政治 ○Unit 19 産業 省略、倒置、名詞構文		8
12月	Unit 20 ロボットが働く「変な」ホテル Clues to Reading ⑫～⑯	○語彙力、文法力、一般常識、国語力の4つの力を高めたると同時に、論理的に文章を理解する力を養う。 ○Unit 20 科学技術 仮定法		8
1月	大学入試問題演習	過去問に取り組み、入試問題の実践演習を行う。		
2月				
3月				

# 東京都立向丘高等学校 令和4年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科:保健体育 科目:体育 単位数:2単位

対象学年組: 第3学年1組~7組)

教科担当者 阿部・石井・石川・倉口・津坂・吉岡

使用教科書:

使用教材:バレーボール、得点版、デジタルホイッスル、カラーコーン、ストップウォッチ、ソフトボール、バト、ベース、ヘルメット、ラケット、シャトル、支柱、ネット、バスケットボール サッカーボール ゴールなど

指導内容 【年間授業計画】	科目「 体育 」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方 法	配当時数
4 月	オリエンテーション 体力テスト	新体力テストの測定と記録	8
	ソフトボール	ボールの打ち方 キャッチングなどの実践に応じた技術の習得	
	サッカー I	バスの基本的技術の習得	
	バドミントン I	基本となる打ち方の習得	
5 月	ソフトボール	ゲーム	8
	サッカー I	バスの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた動き方の習得	
	バドミントン I	基本となる打ち方の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	テニス I	プレースメントの実践的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	サッカー II	バスの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた動き方の習得	
	バスケットボール I	バス ドリブル シュートの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
6 月	バレー ボール I	バス アタック レシーブの基本的技術の習得	8
	テニス I	プレースメントの実践的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	サッカー II	バスの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた動き方の習得	
	バスケットボール I	バス ドリブル シュートの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
7 月	バレー ボール I	バス アタック レシーブの基本的技術の習得	6
	テニス I	プレースメントの実践的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	サッカー II	バスの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた動き方の習得	
	バスケットボール I	バス ドリブル シュートの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
9 月	バレー ボール I	バス アタック レシーブの基本的技術の習得	8
	テニス II	プレースメントの実践的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	バドミントン II	基本となる打ち方の習得	
	バレー ボール II	バス アタック レシーブの基本的技術の習得	
10 月	バードゴルフ I	クラブの握り方・基本的な技術の習得	8
	テニス II	プレースメントの実践的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	バドミントン II	基本となる打ち方の習得	
	バレー ボール II	バス アタック レシーブの基本的技術の習得	
11 月	バードゴルフ II	クラブの握り方・基本的な技術の習得 コースにあわせた打ち方	8
	サッカー III	バス ドリブルの基本的な技術の習得 ゲームを通したチームプレーの習得	
	バスケットボール II	バス ドリブル シュートの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	バドミントン III	基本となる打ち方の習得	
12 月	バードゴルフ II	クラブの握り方・基本的な技術の習得 コースにあわせた打ち方	8
	サッカー III	バス ドリブルの基本的な技術の習得 ゲームを通したチームプレーの習得	
	バスケットボール II	バス ドリブル シュートの基本的技術の習得 ゲームの展開に応じた試合の進め方の習得	
	バドミントン III	基本となる打ち方の習得	
1 月	特別講座		8
2 月			
3 月			

# 向丘高校 令和4年度 芸術・実践美術演習年間授業計画

教科 芸術 科目 実践美術演習 対象 3学年 1組～7組

教科担当者 1組～7組 杉本順子 印

使用教科書:「美術Ⅰ」光村図書

指導内容 【年間授業計画】	科目「美術Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 オリエンテーション	・年間指導計画を理解する。 ・教材について、評価等について。		2
5月 絵画・アニメーション	①鉛筆デッサンの基礎・基本、を通した表現力の育成を図る。 ②「喜怒哀楽」をアニメーション的に表現する。 ③オノマトペを描きこんで、よりアニメーションらしさを加え制作する。	鉛筆の使い方、描写力、色鉛筆の重色効果を生かせる。 【発想・構想の能力】 【創造的な技能】 ・作品による評価 ・ワークシート等による評価。	6
6月 デザイン スターのポートレイト	①好きなスターやスポーツ選手の写真を基にして、トレース、デッサンなどからグラデーションを使って、デザイン的に表現する。 ②選んだスターを感じさせる色彩表現や、レタリングなど工夫して制作する。 ③画面全体のバランスや、アクセントなど魅力ある画面を考える。 ④自己評価及び他者評価（鑑賞）をさせる。	目的に応じて下図を考えている。 【関心・意欲・態度】 【発想・構想の能力】 単色だけのグラデーションではなく、明度、再度、色相を使つた表現もできる。 【創造的な技能】 自他の表現のよさに気付くことができる。 【鑑賞の能力】 ・作品評価及び途中経過の觀察	12
7月 絵画 「砂絵」	○普段使わない材料を使い、絵画表現にチャレンジする。	短時間でも表現の工夫ができる。 【創造的な技能】 ・学期のまとめをワークシートで評価	4
9月 風景画	①スケッチや、自分の撮った写真を使い、風景を描く。 ②構図の取り方、透視図法を使った空間表現を工夫する。 ③キャンバス画用紙を使って、油彩画のように制作してみる。 ④アクリル絵の具で彩色する。 ⑤お互いの作品を評価し合う。（鑑賞）	夏休み中にスケッチしたり、写真に写した風景を自分の描きたい構図にまとめる。 【関心・意欲・態度】 写真そのままの風景から、透視図法や心象風景をおりまして、魅力ある画面制作に取り組む。。	20
10月		【発想・構想の能力】 【創造的な技能】 ワークシート等を使って、自己評価ができる。 ・作品及びワークシートによる評価	
11月			
12月 デザイン 「プッシュステンド」	①デザインの基礎について、色紙（トナルカラー）を使って学習し、美の秩序や構成について学ぶ。 ②ステンドグラスのように表現できるキッドを使って楽しく制作する。 ③お互いの作品を鑑賞する。	生活に生かされているデザインに気付く。 【興味・関心・意欲】 デザインの基礎実習に、自らの工夫を生かして取り組むことができる。 【創造的な技能】	8
1月 作家の手法 木炭のイメージ画	①DVDによる鑑賞 ②各作家の表現意図や表現手法について考えさせる。 ③木炭を使い、明暗や、濃淡を工夫して描く。 ④空想したことの心象風景を表現する。	作家の技法や表現を学ぶ。 【鑑賞の能力】 材料、用具の特性を生かすとともに、自らの意図を表現できる。【創造的な技能】 【発想・構想の能力】	2 6
鑑賞	1年間につくった作品を振り返り感想を書かせる。	1年間を振り返りまとめることができる。【鑑賞の能力】	2

## 向丘高校 令和4年度（実践音楽演習）年間授業計画

教科 芸術 科目 実践音楽演習 対象 3学年

教科担当者 3学年 下山 加織 印

使用教科書：教育出版社 Tutti 音楽 I

使用教材：

指導内容 【年間授業計画】	科目「音楽 I」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 音符、拍子の基礎 器楽アンサンブル	・音部記号に関する理解を深める。 ・拍子記号に関する理解を深める。 ・ギター、キーボード、木琴鉄琴等を使ったアンサンブルに親しむ	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	6
5月 器楽アンサンブル	・ギター、キーボード、木琴鉄琴等を使ったアンサンブルに親しむ ・リコーダーアンサンブルに親しむ ・セブンスコードの理解	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	8
6月 リズムアンサンブル 器楽アンサンブル	・リズムアンサンブルに取り組む。 ・リズム創作に取り組む。 ・ギター、キーボード、木琴鉄琴等を使ったアンサンブルに親しむ ・リコーダーアンサンブルに親しむ	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	8
7月 リズムアンサンブル 器楽アンサンブル	・リズムアンサンブル、リズム創作について発表をする。 ・ギター、キーボード、木琴鉄琴等を使ったアンサンブルに親しむ ・リコーダーアンサンブルに親しむ ・楽曲のコード分析	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	4
9月 テーマ別研究 器楽アンサンブル	・様々な形のアンサンブルに取り組む ・各々テーマを選び、そのテーマに沿った調べもの学習、また演奏の場合は練習を行う。	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	6
10月 テーマ別研究 器楽アンサンブル	・様々な形のアンサンブルに取り組む ・各々テーマを選び、そのテーマに沿った調べもの学習、また演奏の場合は練習を行う。	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。	8
11月 テーマ別研究 器楽アンサンブル 鑑賞	・様々な形のアンサンブルに取り組む ・各々テーマを選び、そのテーマに沿った調べもの学習、また演奏の場合は練習を行う。 ・様々なジャンルの音楽に親しむ	授業の中で一人ひとり到達度をチェック。 提出物	8
12月 テーマ別研究発表会 器楽アンサンブル 鑑賞	・様々な形のアンサンブルに取り組む ・各々テーマの発表会を行う ・様々なジャンルの音楽に親しむ	ギターデュエットのテストを実施。	4
1月 テーマ別研究その② 鑑賞	・各々テーマを選び、そのテーマに沿った調べもの学習、また演奏の場合は練習を行う。（その②） ・様々なジャンルの音楽に親しむ	目標、練習計画表の提出	8
2月			
3月			

## 向丘高校 令和4年度（服飾文化）年間授業計画

教科 家庭 科目 服飾文化 対象 3 学年 1組～8組

教科担当者 鶴岡 理也子 印

使用教材：自作プリント

指導内容 【年間授業計画】	科目「服飾文化」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 衣生活の変遷 被服製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和服の変遷</li> <li>・わが国の衣生活の変遷</li> <li>・平面構成・立体構成(紙の浴衣製作より)</li> <li>・基礎縫いの種類と方法を理解する。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、取り組み提出物及びその内容	6
5月 被服の製作 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服のデザインと服装美</li> <li>・流行と被服の関係、色彩について</li> <li>・大裁ち単衣長着製作、裁断の方法を学ぶ。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、取り組み提出物及びその内容	6
6月 被服の製作 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の服飾の変遷</li> <li>・素材による扱いの違いについて知る。</li> <li>・大裁ち単衣長着製作。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
7月 被服の製作 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着装のくふうやコーディネートの方法について知る。</li> <li>・布端のしまつ、見返し処理、芯地の利用の意味と方法を理解する。</li> <li>・ボタンつけ、スナップボタンなど基本的な技術を学ぶ。</li> <li>・大裁ち単衣長着製作</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
9月 衣服のデザイン 被服の製作 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大裁ち単衣長着製作</li> <li>・残り布を使った巾着袋の製作</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
10月 被服の製作 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帆布を使った帯の製作</li> <li>・日本刺繡について</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
11月 和服の種類と着装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和服の種類や社会的慣習について学び、それぞれの状況に応じた着装について理解する。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
12月 和服の手入れと保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和服の種類に応じた手入れ方法および保管方法を理解する。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
1月 服飾文化の伝統と創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の通過儀礼と服飾について学ぶ。</li> <li>・我が国の年中行事と服飾のかかわりを理解する。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
2月 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の着装方法や活用方法について考え、実践する。</li> </ul>	授業中の参加姿勢、取り組み提出物及びその内容	6
3月			

# 向丘高校 令和4年度（フードデザイン）年間授業計画

教科 家庭 科目 フードデザイン 対象 3 学年 1組～8組

教科担当者 鶴岡 理也子 印

使用教科書: フードデザイン(実教出版)

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目「フードデザイン」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 健康と栄養	食事の意義と役割を理解する。 食をとりまく現状について知り、解決すべき課題について考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
5月 健康と栄養 調理の基本	栄養素の種類とはたらきについて科学的に理解する。 調理の目的を意識しながら調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
6月 健康と栄養 調理の基本	各ライフステージに応じた栄養計画について理解する。 さまざまな調理方法の特徴を理解し、調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
7月 食品の衛生と安全	食中毒の種類とその防止法について知り、台所の衛生について考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
9月 食品の特徴 調理の基本	さまざまな食品の特徴と性質を知り、取り扱い方法を学ぶ。 食品の特性を生かした調理方法を考えて調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
10月 食品の選択 調理の基本	食品の生産と流通の現状を知り、食品の選択について考える。 家庭での食品加工の方法をいかして調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
11月 献立作成 調理の基本	日常食の献立を考える際の留意点を知り、日常食・行事食・供応食の献立を立てられるようにする。 献立作成をもとに調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
12月 料理様式とテーブルコーディネート 調理の基本	料理様式と献立について知り、日常生活にいかせるようにする。 場面にふさわしいテーブルコーディネートを考えて調理実習を行う。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
1月 食生活の充実・向上	食をとりまくさまざまな問題について知識を広げ、理解を深める。 学習した内容をもとに、これからの食生活の課題について考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	
2月			
3月			14

# 向丘高校 令和4年度（子どもの発達と保育）年間授業計画

教科 家庭 科目 子どもの発達と保育 対象 3 学年 1組～8組

教科担当者 鶴岡 理也子 印

使用教科書:子どもの発達と保育(実教出版)

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目「子どもの発達と保育」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月 保育の意義と重要性 家庭保育と集団保育	保育の目標を知り、高校生として保育を学ぶ意義を理解する。 家庭保育と集団保育それぞれの特徴や役割を学ぶ。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
5月 子どもの発育 子どもの発達 遊びの援助	子どもの発育・発達の特徴を理解する。 発育と発達の相互関係を理解する。 発育・発達を促す働きかけのひとつとして、遊びの援助の方法を考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
6月 人間関係の発達 発達と保育環境 遊びの援助	多くの人とのかかわりによって自立していくことを学び、愛着の重要性を理解する。 幼児期に望ましい生活環境について考える。 遊びの援助の方法をくふうし、実践する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
7月 保育の方法	保育者の役割を考え、指導のポイントを理解する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
9月 生活と養護 遊びの援助	乳幼児の生活の特徴を学び、発育・発達に応じた養護の必要性を理解する。 乳幼児の食生活について学ぶ。 遊びの援助の方法をくふうし、実践する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
10月 生活と養護 遊びの援助	乳幼児の衣生活について学ぶ。 遊びの援助の方法をくふうし、実践する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
11月 生活習慣の形成 健康管理と事故防止 遊びの援助	生活習慣形成の意義と重要性を理解し、保育環境のくふうについて考える。 乳幼児の健康と安全を守るために保育者の役割を理解する。 絵本の読み聞かせの技術を学び、実践する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
12月 子どもの福祉	子どもの権利について知る。 児童福祉の法律や制度について理解する。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
1月 子どもの福祉	児童福祉機関や施設の種類と目的を学び、それぞれに関わる職業について知る。 児童と家庭に対する社会的援助の現状と問題点を知り、今後の課題と展望を考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	8
2月 まとめ	学習した内容にもとづいて、今後の子どもとのかかわり方について考える。	授業中の参加姿勢、発言提出物及びその内容	6
3月			